

# 目次

まえがき 2

## 第1章 無知な自信と生きた社会

格差社会と共に生きる

しかし、馬鹿な人間などどこにもいない

教育システムからの考察

リテラシーとは何か？

では、そのプロセスは？

実存主義哲学

絶対にイける！ とは？

12  
14  
16  
20  
22  
25  
28

## 第2章 人と利益（基礎知識）

利益が生まれるメカニズム

夢実現の街道は平坦ではない

成長と教育

経営を安定させるには。

## 第3章 なぜ法人を設立するのか？

法人について

営利法人の種類

会社の設立

パン屋を起業

パン屋を起業（その2）

32 35 40 43 46 49 52 57 68

## 第4章 「法人」としての価値

何をもって付加価値とみるか

工場で発生のコストを下げる。

特許をとる

独自の販売政策を確立させる

資金調達の変更方を変える

中小企業でも大きな会社に勝てる

何故利益が必要か

会社の栄光がみれるのか否かは社長の腕次第

## 第5章 法人格よりもヒトとして

常識か非常識か

成長する会社には共通の基準がある。

会計知識が国民に浸透するのが遅い理由

では、経験豊富になれば問題解決能力が高まるか

## 最終章 なぜ倒産するのか？

M & Aの観点から考える

T O B株式公開買い付け

敵対的T O Bになるのは、なぜ??

140 138 132

あとがき

148